

塩川てつや衆議院議員・たけだ良介参議院議員が来村



5日、日本共産党の塩川てつや衆議院議員と、たけだ良介参議院議員が東海村を訪れ、東海発電所のL3廃棄物の素掘り埋設計画や、第二原発の再稼働問題等について、住民の皆さんの声を伺いました。

「国内初のL3廃棄物の処分計画は、素掘り埋設を先例にしないでほしい」、「第二原発の事故の避難計画は作りようがない。国の責任で明確に廃炉を決めてほしい」など、たくさんの意見が寄せられました。

リオ五輪卓球男子団体で銀メダル獲得
よしむらまはる

吉村真晴選手に、村民栄誉賞、東海村文化・スポーツ特別賞が贈られる・・・3月6日

チャンスはいつ来るかわからない。今取り組んでいることを一生懸命に頑張ることが大事（白方小児童の質問に答えて：吉村選手）

吉村 真晴選手 東海村民栄誉賞 授賞式・交流会



受賞後に挨拶をする。

東海クラブや白方小の児童らと卓球を楽しむ。

マスコミの取材に応じて。

森友学園問題 首相に解明責任ある

関係者聴取と国会招致を

小池書記局長国会内で会見

日本共産党の小池晃書記局長は6日、国会内で記者会見し、学校法人「森友学園」への国有地払い下げ問題で、政府が8億円の値引きについて「法令上、問題はない」と繰り返していることについて問われ、5日のNHK「日曜討論」でも自民党の中川雅治参院副会長が「法令違反はない」として関係者の国会招致を拒否する姿勢を示したことを挙げ、「違法性があるなら司法の出番になる。今はその違法性の有無をめぐって真実を解明しないといけない」と強調しました。

小池氏は「(政府は)記録は全部破棄したと言っており、何を根拠に8億円の値引きが妥当と判断されたのか」と疑問を呈し、「籠池(泰典)理事長と当時の財務省理財局長の国会招致は当然やらなければならない」と指摘しました。

さらに、関係者の国会招致以前に安倍晋三首相には「自ら解明する責任がある」と指摘。鴻池祥肇参院議員事務所の面談記録に出てくる大阪航空局と近畿財務局担当者への聞き取りに加え、森友学園からの働きかけの有無について自民党全議員に確認すべきだと強調し、「行政の長としても、自民党総裁としても、明日にでもできる話であり、すぐやるべきだ」と述べました。